

望来地区防災マップ (令和7年版)

凡例

- 津波浸水想定区域**
- 20.0m 以上
 - 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 1.0～3.0m 未満
 - 0.5～1.0m 未満
 - 0.3～0.5m 未満
 - 0.3m 未満
- 洪水浸水想定区域**
- 10.0～20.0m 未満
 - 5.0～10.0m 未満
 - 3.0～5.0m 未満
 - 0.5～3.0m 未満
 - 0.5m 未満
- 中小河川 洪水浸水想定区域 (想定最大規模) を示す
- 土砂災害特別警戒区域・警戒区域**
- 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
- 指定緊急避難場所**
- 指定緊急避難場所
 - 地域で決めた一時避難場所
- 警察**
- 警察
 - 病院
 - 消防署・消防団
 - 公民館・研修センター
 - 福祉・児童館
 - 幼稚園・保育園
 - 文化・教育施設
 - 公園
- 一般国道**
- 一般国道
 - 主要道路

備蓄品

- 《非常食》
- 雑炊
 - クラッカー
 - 飲料水
 - 粉ミルク
 - アレルギー対応粉ミルク
- 《生活用品》
- 毛布
 - ラジオライト
 - 発電機
 - 投光機
 - ストーブ
 - 救急箱
 - 簡易トイレ
 - 子供用おむつ
 - 大人用おむつ
 - 生理用品
 - ガスコンロ
 - ビニールシート
 - ハンドマイク
- ※避難所により、備蓄状況は異なります。

防災用資機材セット

- 消火器 5本
- 消火バケツ 10個
- のこぎり 1丁
- おの 1丁
- ハンマー 1丁
- 金でこ 1本
- 剣先スコップ 5本
- かませ木 2本
- ロープ 2本
- ジャッキ 1台
- ポルトクリッパー 1丁
- 折りたたみ式担架 2台
- 救急セット 1式
- 道具台車 1台
- トランジスタメガホン 1台
- ラジオライト 1台
- ヘルメット 10個
- 防水シート 3枚
- 資機材収納箱 1台

持ち出し品の確認

個人でなければ用意できないものなど、絶対に忘れてはいけない持ち出し品をメモしておきましょう。

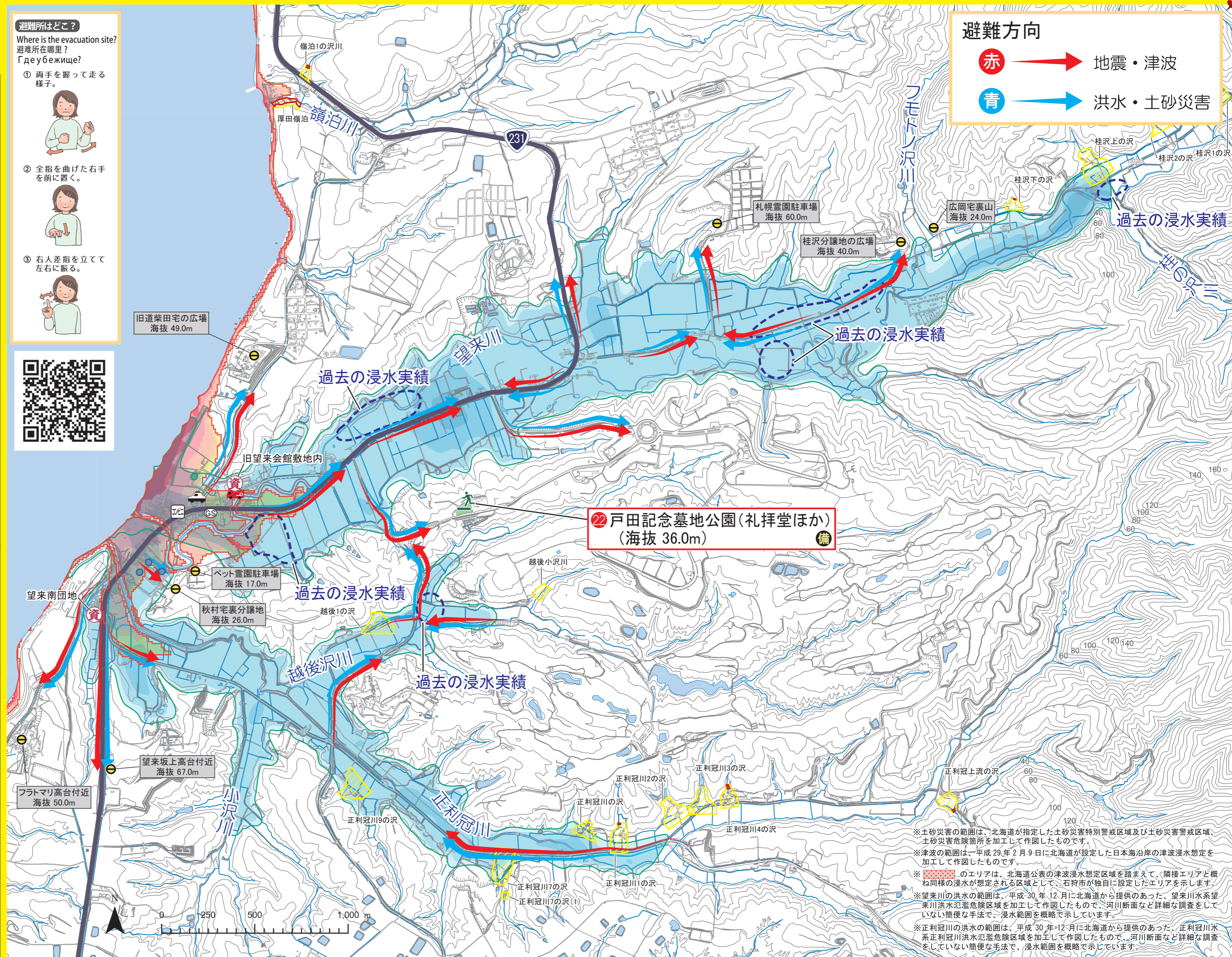
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

避難所はどこ？
Where is the evacuation site?
避難所在哪里？
Где убежище?

① 両手を握って走る様子。

② 全指を曲げた右手を前に置く。

③ 右人差し指を立てて左右に振る。



避難方向

赤 → 地震・津波

青 → 洪水・土砂災害

※土砂災害の範囲は、北海道が指定した土砂災害特別警戒区域及び土砂災害警戒区域、土砂災害危険箇所を加工して作図したものです。

※津波の範囲は、平成29年2月9日に北海道が設定した日本海沿岸の津波浸水想定を加工して作図したものです。

※このエリアは、北海道公表の津波浸水想定区域を踏まえて、隣接エリアと概ね同様の浸水が想定される区域として、石狩市が独自に設定したエリアを示します。

※望来川の洪水の範囲は、平成30年12月に北海道から提供のあった、望来川水系望来川洪水氾濫危険区域を加工して作図したもので、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法で、浸水範囲を概略で示しています。

※正利冠川の洪水の範囲は、平成30年12月に北海道から提供のあった、正利冠川水系正利冠川洪水氾濫危険区域を加工して作図したもので、河川断面など詳細な調査をしていない簡便な手法で、浸水範囲を概略で示しています。

指定緊急避難場所	災害の種類							指定避難所	住所	電話番号	家族の連絡先				家族のルール		緊急連絡先	
	地震	津波	高潮	洪水	まちの浸水	土砂災害	大火事				家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	家族の避難先等について記入しよう		市役所	厚田支所地域振興課管理担当
② 戸田記念墓地公園(礼拝堂ほか)	△	○	○	○	○	○	×		望来 327	77-2200	大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		・	市役所	電話番号: 78-2011	
											大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		・	かかりつけの病院	病院名: 電話番号:	
											大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		・	近所の総合病院	病院名: 電話番号:	
											大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		・		(自由記入欄)	
											大・昭平・令	年 月 日	A・B O・AB		・		(自由記入欄)	

※まちの浸水とは、降雨量が小河川や下水道等の流れる能力を超えた場合に、建物や道路が浸水することを指します。※表中の記号は、「○」: 現象に対応できるもの ×: 現象に対応できないもの △: 施設の安全が確認された後に使用する施設であり、耐震条件を満たしたもの ▲: 2階以上の避難について現象に対応できるもの」を表しています。

この防災マップは、皆さまの声をまとめたものです。

望来地区の『防災の心得』

※この「防災の心得」は、皆さまの声をまとめたものです。

平常時

1 持ち出し品と

個人で必要なものを考え、持ち出し品の準備や備蓄をしよう。冬季の寒さ対策も忘れないようにしよう。

4 要配慮者の把握！

普段の生活の中から、自治会や隣近所などが中心となって要配慮者の把握を行おう。

2 自身で確認！

家族の間で、連絡方法、避難経路、集合場所、標高、避難時に危険となる箇所を確認をしておこう。

5 自動車避難のルール

避難所まで距離がある地区は、自動車での避難するための地区のルールをつくろう。

3 みんなで確認！

隣近所の高齢者などに避難場所や経路を繰り返し伝えよう。

6 防災訓練で備える！

想定にとらわれることなく、日頃から防災訓練を実施して、災害時に備えよう。

災害時

1 まずは情報収集！

テレビやラジオ、サイレンなどで災害情報を取得し、素早く対応しよう。

2 自分と家族の安全確保！

まずは自分や家族の身を守ることにが第一と考えよう。

3 周囲の人に知らせる！

隣近所への声掛けを行い、災害を知らせて合って避難しよう。

6 指定避難所の運営は

指定避難所の運営は、避難した人であることができるようにしておこう。

5 天候に応じた避難を！

吹雪などの天候に考慮した準備をして避難をしよう。

4 助け合って避難！

一人で逃げるのが困難な高齢者や乳幼児の避難を助けよう。

5 近くの避難所を

チェックしよう。

3 いつも通っている

場所をチェックしよう。
(学校・職場・病院など)

2 自分の家を

チェックしよう。

1 地区内の危険を

チェックしよう。
(津波、洪水、土砂災害など)

＜望来地区＞ 地区防災マップの使い方



「いしほし」※ダウンロード画面では「ライブビュー」と表示されます。
スマホにインストールして使用するアプリです。
災害時の緊急情報や市からのお知らせをプッシュ通知で受けとれるほか、市の施設予約や各種サービスへ素早くアクセスすることができ電子回覧板機能も利用できます。